

もつと
気楽に！

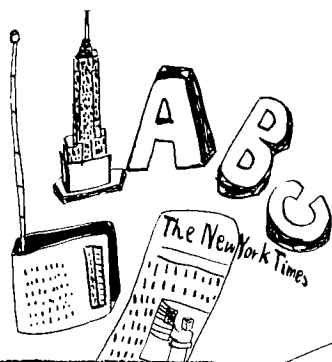
英会話

朝比奈海

Umi Asahina

Take it easy!





江苏工业学院图书馆

藏书章

英会話

藏と氣樂に！



朝比奈海

朝比奈 海 (あさひな・うみ)

フリーライター、翻訳家として多方面で活躍する二人の女性のペンネーム。訳書に『夫婦の絆が試される時』『魂に覚醒める旅』(講談社)がある。
篠田ユール洋子●豊富な海外生活体験と国際結婚を通じて生きた英語をマスター。現在も日本、バリ島、オーストラリアの3ヵ国を生活拠点に翻訳・執筆活動が続けている。井原美紀●ツアーコンダクター、トラベルライターとして世界250都市以上を旅しながら独学で英語をマスター。現在小学館の月刊誌『Oggi』にて『和の楽園』を連載中。著書『ヨーロッパの小さな街』(小学館)などがある。

講談社ニューハートカバー

もっと^{きらく}気楽に!^{えいかい} 英会話

1997年3月22日 第1刷発行

著者———朝比奈 海

©Umi Asahina 1997, Printed in Japan



発行者———野間佐和子

発行所———株式会社講談社

東京都文京区音羽2-12-21 〒112-01

電話 出版部03-5395-3530

販売部03-5395-3625

製作部03-5395-3615

装丁———スタジオ・ギブ

カバー印刷———共同印刷株式会社

本文印刷———慶昌堂印刷株式会社

製本———島田製本株式会社

本書の無断複写(コピー)は著作権法上の例外をのぞき、禁じられています。

落丁本・乱丁本は小社書籍製作部あてにお送りください。

送料は小社負担にてお取り替えします。

なお、この本の内容についてのお問い合わせは
生活文化第三出版部あてにお願いいたします。

ISBN4-06-264045-7 (生活文化三)

定価はカバーに表示してあります。

もっと気楽に！

英会話

—— 目次

プロローグ

どうして英語がモノにならない？—— 13

何のために英語を話したいのか？—— 15

語学上達はスリー・ステップ—— 16

「英語は楽しい」と言えるようになるには……—— 19

第一章 誰でも英語は話せるようになる！

中学、高校の六年間だけの勉強でじゅうぶん？—— 22

アメリカでは子供だって英語を話してる！—— 25

英語を覚えるのに遅すぎることはない—— 27

バイリンガルになれなくたっていい—— 29

幼児から始めればいい？—— 31

間違いは成功のもと—— 34

第二章　まずは基礎から

単語ではなくフレーズで覚える！—— 40

英会話学校に入る！—— 42

ラジオ講座を聴こう！—— 44

テレビを見る！—— 48

「お母さんと一緒」に学ぼう！—— 50

早起きをする！—— 52

やはりビデオは必見！—— 54

〈初心者向きの洋画〉—— 56

活字フリークには原書で—— 59

〈初心者向きの洋書〉—— 61

第三章 壁を乗り越えるために

自分の発音と比べてみる—— 66

モノマネ上手は英語上手!—— 68

外国雑誌は表現を教えてくれる教科書—— 70

ちよつと気取つて古典から—— 72

アメリカ人の友達を作る—— 76

気楽にベビーシッターから—— 79

外資系の会社で話し相手を見つける—— 82

「善意の通訳」に参加—— 84

目的別のプログラム—— 87

留学前の準備で効果に差がでる—— 89

カリキュラム通りに進めれば……—— 91

留学先を自分で探せない！—— 94

英語以外のコースでネイティブの友人と知り合う—— 97

第四章 話す機会は自分でつくる

とにかく話しかける—— 102

日本を上手に紹介する—— 104

今はやっぱりインターネット！—— 110

Eメールは簡潔に—— 114

Eメールに「」や「」の記号を使って—— 116

電話をかける時の決まり文句	118
スペリングを確認する方法	121
海外通販の達人になる	124
手紙でコミュニケーション	126
究極の「ピロートーク」	128

第五章 英語は知れば知るほど奥は深い！

アメリカ英語とイギリス英語	134
英米の違いは気にしない！	136
冠詞をあなどらない	138
カタカナ英語を一度忘れる！	141
まずは通じることが第一	144

舌を鍛えるより他に手はない――	147
発音はひたすら練習あるのみ――	149
ところ変われば名前も変わる――	152
イギリスは愉快だ！――	156
ひと味違うオーストラリア――	158
国境を越えても英語を話している！？――	162
名前のもたらすイメージにご用心――	164

第六章 上手に見える表現力

擬音は表現力の差――	170
「いただきます」「ごちそうさま」は食事のマナー？――	172
流行語は知識として――	175

略語を知らない仲間外れに!?! — 177

きちんと話せて当たり前 — 180

教養の滲みでる話し方 — 182

ルームメイトから異文化を学ぶ — 188

ルームメイトとの素敵な関係 — 190

パクツア—でも機会は逃さない — 192

メモを片手に語彙を増やす — 195

困った時こそ強気が大事 — 199

第七章 異文化を知ることとは上達の道

知っておくべきタブー・ネタ — 204

年上を名前で呼ぶ — 207

相槌は責任をもって—— 209

“NO”と言えない日本人—— 212

自分を上手にアピールする—— 215

“SORRY”の意味は重い—— 218

アメリカ人の微笑み—— 220

挨拶の「握手」はしっかりと—— 222

親しい人との挨拶のキス—— 224

あながき—— 227

もつと氣樂に！

英會話

カバー装画
阿部真理子

プロローグ

どうして英語がモノにならない？

日本人と英語はまさに LOVE AND HATE（強い愛憎^{あいぞう}）の関係。話せるようになりたいけれど、なかなか話せるようにならない……。どうして？

私大で英語コミュニケーションというクラスを受け持っているオーストラリア人講師に、その理由を聞いてみました。

「試験だよ。試験のために勉強しなければならない、試験で評価されることに嫌悪感^{けんお}をもっているからだと思う。学年末にアンケートを取ると、八割くらいの学生が僕の授業が良かったと答えるけれど、その理由が試験が厳しく^{きび}ないからというのが大半だよ」

また、小学生や中高生に英会話を教えているアメリカ人教師はこう言いました。

「小学生の頃はみんな目を輝かせている。英語が習いたくて教室に来るから、やる気もある。ところが、中学生くらいから段々とやる気をなくしていくんだよ。試験制度のせいとか、それとも読み書き中心の授業だからだろうね」

確かにこの点を指摘する語学専門家は増えています。これは専門家の間でじゅうぶんディスカッションを重ね、見直していかなければならない点です。しかし簡単には変わらない現状を批判していても、英語は上達できません。それに、同じ教育事情のなかで英語をモノにしている人もいるのですから……。

「でも、私は頭が良くないし、勉強が苦手だから……」

という声が聞こえてきそうですが、それは単なる excuse (言い訳) にすぎません。海に向こうでは、二歳の子供が英語を話すのです。頭が悪いから英語ができないという等式は成り立ちません。

「でも……」と否定的なことばかり並べ立てていたら、英語が上達するわけがありません。「私だって英語が話せるようになる」

というプラス思考が肝心。ポジティブ・シンキングなくして、成功はありません。